

浜の活力再生プラン  
令和 6 ～ 1 0 年度  
第 2 期

## 1 地域水産業再生委員会

組織名	三国港地区地域水産業再生委員会
代表者名	山本 紀彦（三国港漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	三国港漁業協同組合、坂井市、福井県、福井県漁連
オブザーバー	—

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	三国港漁業協同組合管内 一本釣漁業 20名 (令和 6 年 4 月時点)
-------------------	--

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

坂井市は福井県の北部に位置し、岐阜、石川県の県境にあたる峰から流れる九頭竜川の中流から下流に開けた広大な坂井平野は「こしひかり」の産地であり豊かな水と食材の宝庫である。

三国港漁業協同組合は九頭竜川河口に位置し、その浅海と天然礁の玄達瀬と松出シ瀬を主な漁場として、アマダイ、タイ類、メバル類、タラ、小豆貝などを対象に一本釣漁業、刺網・籠漁業で漁獲している。

三国港漁協全体の水揚金額は、3千万円～4千万円と増減を繰り返しながら推移しており、魚価安と漁獲減少により非常に厳しい経営が続いている。正組合員数は平成元年32人から令和 6 年現在20人まで減少し高齢化が進行しており、後継者の新規参入が皆無となっていることから、新たな担い手不足が課題となっている。

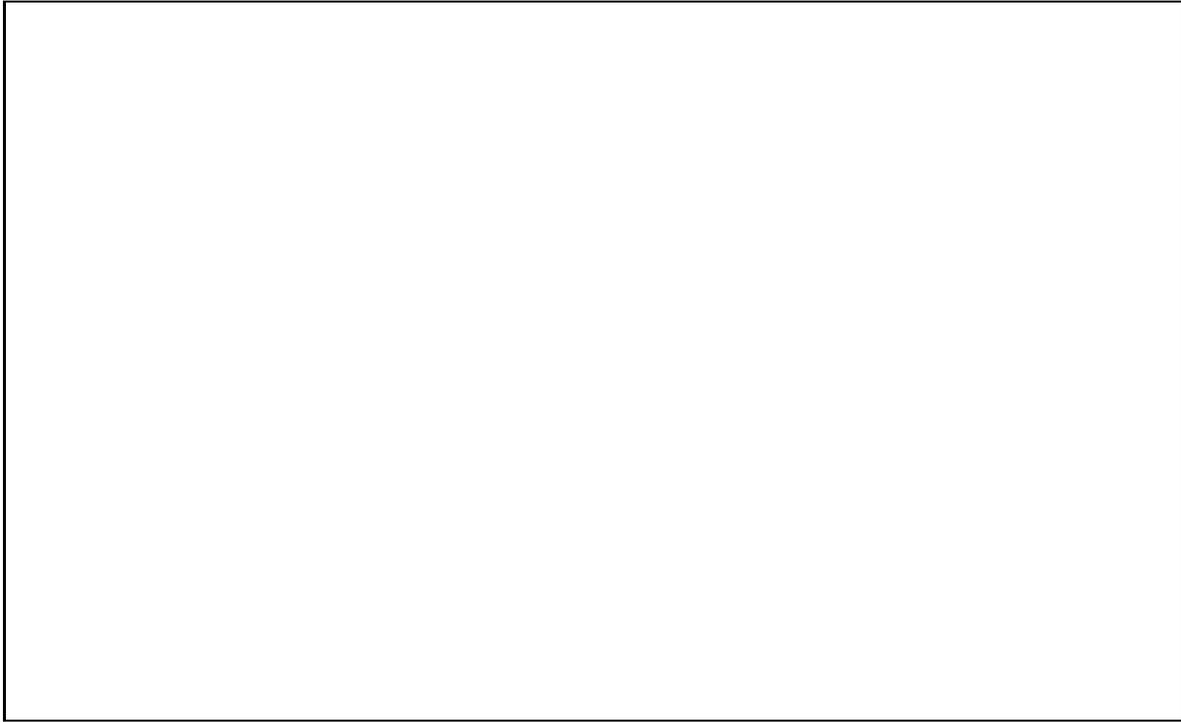
## (2) その他の関連する現状等

当該地域では、人口減少に加えて「魚離れ」により地元での水産物の消費量が減少している。一方で、近年はインバウンドの拡大や北陸新幹線の開業により観光客の増加が見込まれており、水産物ブランドの知名度向上と観光業との相互拡大に取り組んでいる。

## 3 活性化の取組方針

## (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

- 1 漁業収入向上のための取組  
漁業環境の保全及び水産資源の保護に取り組むことにより生産量の増加を図る。
- 2 漁業コスト削減のための取組  
漁船の燃油効率改善に取り組むことにより燃油使用量の削減を図る。
- 3 漁村の活性化のための取組  
漁業後継者の育成及び漁業の魅力発信の取り組むことで地域活性化を図る。

(3) 資源管理に係る取組

・福井県漁業調整規則により、採捕できる水産物について禁止期間、体長等の制限、漁法の禁止、漁具の禁止を設定している。

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比） 4.09%

漁業収入向上のための取組	漁協は、海上清掃、沿岸清掃で流木・ごみ等を定期的に回収することで漁場を保全し、水産資源の安定化、操業の安全性向上を図り、漁獲量の増加を図る。
漁業コスト削減のための取組	漁協は、漁船の低速航行や船底のこまめな洗浄による燃費効率の改善により、燃油使用量を5%削減する
漁村の活性化のための取組	漁協は、後継者育成や水産物普及するために、地元小学校における漁業体験などを実施する。 また、漁協及び市は、三国港市場朝市への出店や水産振興イベントへの参加により漁業の魅力を発信し、地域活性化を図る。

活用する支援措置等	ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業
-----------	-----------------------------------

2年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比）5.84%

漁業収入向上のための取組	漁協は、海上清掃、沿岸清掃で流木・ごみ等を定期的に回収することで漁場を保全し、水産資源の安定化、操業の安全性向上を図り、漁獲量の増加を図る。
漁業コスト削減のための取組	漁協は、漁船の低速航行や船底のこまめな洗浄による燃費効率の改善により、燃油使用量を5%削減する。
漁村の活性化のための取組	漁協は、後継者育成や水産物普及するために、地元小学校における漁業体験などを実施する。また、漁協及び市は、三国港市場朝市への出店や水産振興イベントへの参加により漁業の魅力を発信し、地域活性化を図る。
活用する支援措置等	ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業

3年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）7.59%

漁業収入向上のための取組	漁協は、海上清掃、沿岸清掃で流木・ごみ等を定期的に回収することで漁場を保全し、水産資源の安定化、操業の安全性向上を図り、漁獲量の増加を図る。
漁業コスト削減のための取組	漁協は、漁船の低速航行や船底のこまめな洗浄による燃費効率の改善により、燃油使用量を5%削減する
漁村の活性化のための取組	漁協は、後継者育成や水産物普及するために、地元小学校における漁業体験などを実施する。また、漁協及び市は、三国港市場朝市への出店や水産振興イベントへの参加により漁業の魅力を発信し、地域活性化を図る。
活用する支援措置等	ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比）9.35%

漁業収入向上のための取組	漁協は、海上清掃、沿岸清掃で流木・ごみ等を定期的に回収することで漁場を保全し、水産資源の安定化、操業の安全性向上を図り、漁獲量の増加を図る。
漁業コスト削減のための取組	漁協は、漁船の低速航行や船底のこまめな洗浄による燃費効率の改善により、燃油使用量を5%削減することにより、漁業者の所得向上を図る。
漁村の活性化のための取組	漁協は、後継者育成や水産物普及するために、地元小学校における漁業体験などを実施する。また、漁協及び市は、三国港市場朝市への出店や水産振興イベントへの参加により漁業の魅力を発信し、地域活性化を図る。
活用する支援措置等	ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業

5年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）11.1%

漁業収入向上のための取組	漁協は、海上清掃、沿岸清掃で流木・ごみ等を定期的に回収することで漁場を保全し、水産資源の安定化、操業の安全性向上を図り、漁獲量の増加を図る。
漁業コスト削減のための取組	漁協は、漁船の低速航行や船底のこまめな洗浄による燃費効率の改善により、燃油使用量を5%削減することにより、漁業者の所得向上を図る。
漁村の活性化のための取組	漁協は、後継者育成や水産物普及するために、地元小学校における漁業体験などを実施する。また、漁協及び市は、三国港市場朝市への出店や水産振興イベントへの参加により漁業の魅力を発信し、地域活性化を図る。
活用する支援措置等	ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業

(5) 関係機関との連携

三国港市場を開設している一般社団法人三国港市場、県漁連、買受人（魚商組合）と連携し、漁業者の立場から水産振興に取り組む。また行政（市）、観光協会、DMOさかい、民宿組合等と連携して三国地域におけるインバウンド需要の喚起に取り組む。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の実施状況及び効果の発現状況を自ら評価し、それを踏まえた取組の改善を検討するため、委員会は、浜プラン評価検討委員会を毎年1回以上開催する。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

(3) 所得目標以外の成果目標

めばる類の生産量向上	基準年	平成30年度～ 令和4年度 5中3平均	9,127	Kg
	目標年	令和10年度：	9,584	Kg
新規就業者の確保 (正組合員の増加)	基準年	令和4年度	20	人
	目標年	令和10年度：	23.3	人

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>○所得向上の取組に係る成果目標：めばる類の生産量向上 めばる類の生産量は平成30年度から令和4年度の5中3平均を基準とし、今期プランの取組により、5年間で5%の生産量向上を目標とした。</p> <p>○漁村活性化の取組に係る成果目標：新規就業者の確保 正組合員数は令和4年度を基準とし、減少傾向に歯止めをかけ、平成30年度から令和4年度の5中3平均数への回復を目標とした。</p> <p>いずれも取組内容に即した現実的な計算を行っており、妥当な目標設定であると判断した。</p>
--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 (省燃油活動等支援事業)	漁場や港までの入出港を通常時より4ノット減速航行することで、燃油高騰による経費増加を抑え、漁業経営の安定を図る。
ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 (高付加価値化等支援事業)	漂着する流木・ごみ等を定期的に回収することで漁場を保全し、水産資源の安定化を図る